

## 第1学年国語科学習指導案

指導学級 宮古市立千徳小学校

1年1組 男14名女15名計29名

指導者 佐藤 和美

指導場所 1年1組教室

### 研修テーマ 順序に気を付けて内容を正しく読むことができる児童の育成

時間や事柄の順序に従って内容を押さえていくことが、正しく読む力を育成することの基本であると考え、それを意識する児童の育成を目指してテーマを設定した。

児童は、時間や事柄の順序に着目しながら文章を読んだり書いたりする力が十分ではない。また、経験したことを順序に沿って話したり聞いたりすることの苦手な児童も多い。

これまでの単元「いろいろなくちばし」「じどう車くらべ」では、「問い」と「答え」という説明文の基本文型とともに、説明の順序に着目させ、内容を正しく読む指導をしてきた。

1 単元名 ちがいをかんがえてよもう「どうぶつの赤ちゃん」(光村図書 1年下)

2 単元について

(1) 児童について

本単元は、学習指導要領第1学年C読むことの内容(1)イ「時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。」を受けて設定した。

児童はこれまでに、「いろいろなくちばし」において、「問い」と「答え」という説明文の基本型を学習した。「じどう車くらべ」では、問いが二つになり、それに対する答えの説明をするという構成の文章も学習してきている。句読点や声量に気を付けてすらすらと文章を読むとともに、文章の内容を理解するために挿絵と文とを照応させて読み取ったり説明したりすることも少しずつできるようになってきている。しかし、児童一人一人の読み書きの力は個人差が大きく、文をまだ語のまとまりで読むことができず、拾い読みをしている児童もいる。また、文章を構成している事柄や時間の順序に着目しながら読んだり書いたりしようとする児童は少ない。日常生活においても、経験したことについて順序に沿って話したり聞いたりする力は十分ではない。そこで、本教材を通して、事柄や時間の順序を考えながら読んだり書いたりする経験をさらに積ませる必要がある。

(2) 教材について

動物の赤ちゃんは、児童にとって興味・関心をもちやすく、多くの発見に満ちている。ライオンの赤ちゃんは、児童が知っているライオンの成長した姿からは想像がつかないほど、様子が異なっている。しまうまは驚くほど短時間で立ち上がり、走ることができるようになる。これは、ライオンなどに襲われる危険から身を守るために備わった能力であると考えられる。このように、ライオンの赤ちゃんと母親の姿の違いや、しまうまの赤ちゃんのたくましさを読み、児童は大いに驚くであろう。この驚きや発見が、児童の興味・関心をさらに高め、楽しく読み進めることのできる教材であると考えられる。

本教材の構成を見ると、問いかけの段落・ライオンの説明・しまうまの説明という3つの意味段落に分けられる。また、それぞれの動物の説明は、大きさ・目や耳の様子・親との比較・歩くときの様子など、ライオンとしまうまとを比較しやすいように説明の順序を揃えて述べられている。問題文には、生まれたときの様子・大きくなっていく様子という二つの視点を示しており、様子の違いに目を向けやすくしている。さらに、大きくなっていく様子については、時間の経過を表す具体的な数値や言葉で示されているため、時間の順序を考える必要性をもたせている。

このように、本教材は児童の興味・関心を高めるとともに、書かれている事柄や時間の順序に気を付けて内容を読み取る力を付けることに適していると考えられる。

(3) 指導について

順序に気を付けて読む力を身に付けさせるために、単元全体を通して音読を繰り返して行うとともに、各段階において次の点に留意しながら指導にあたっていく。

「つかむ」段階では、「どうぶつの赤ちゃん」という題名から、知っている動物の赤ちゃんについて児童の知識や経験を発表させることにより教材文に対する興味・関心を高める。その上で、第一段落には二つの問いかけがあることを確かめさせ、その問いに沿って読む意識をもたせる。

「たしかめる」段階では、「生まれたときは」「三十分もたたないうちに」などの、時点や時間の経過を表す語句に着目させるとともに、主語・述語のつながり確かめさせながら時間の経過と動物の赤ちゃんの成長の様子とを結びつけて読み取らせていく。また、時間の順序や要点にかかわる大事な言葉を書き抜かせることにより、内容の大体を読む力を育てることができると考える。さらに、ライオンとしまうまの赤ちゃんの特徴を比較することによって、動物によって生まれたときの様子や成長の様子が大きく異なることへの驚きや感動といった内容のおもしろさにもふれさせる。

「ひろげる」段階では、他の動物の赤ちゃんの様子を調べさせ、説明文を書かせる。その際には、「たしかめる」段階で学習した「生まれたばかりの様子」と「大きくなっていく様子」について文章を書かせたり友達の発表を聞かせたりすることにより、順序に気を付けて正しく内容をとらえる力を育てたい。

3 単元の目標

- (1) ライオンとしまうまの赤ちゃんの違いを比べながら、動物の赤ちゃんに関心をもって読もうとする。 (国語への関心・意欲・態度)
- (2) 動物の赤ちゃんについて書くのに必要な事柄を集め、説明の順序を考えながら他の動物の赤ちゃんの特徴を書くことができる。 (書くこと)
- (3) ライオンとしまうまの赤ちゃんの生まれたばかりの様子や成長の経過を、時間の順序等に気を付けながら読み取ることができる。 (読むこと)
- (4) 文の中の主語と述語のつながり確かめながら読んだり書いたりすることができる。 (言語についての知識・理解・技能)

4 単元指導計画

段階	時	学 習 内 容
つかむ	1	○動物の赤ちゃんについて知っていることを発表し、興味・感心を高める。 ○全文を読み、感想を交流し合う。
	2	○問いの文を確かめ、「生まれたばかりの様子」「大きくなっていく様子」について、ライオン、しまうまの順に学習していくことを確かめる。
たしかめる	3	○ライオンの赤ちゃんの生まれたばかりの様子と大きくなっていく様子を読み取る。
	4	
	5 6 本時	○しまうまの赤ちゃんの生まれたばかりの様子と大きくなっていく様子を読み取る。
ひろげる	7	○ライオンとしまうまの赤ちゃんのちがいをを見つける。
	8	○他の動物の赤ちゃんについて書かれている本を探して読む。
	9	○好きな動物の赤ちゃんについて調べる。
	10	○動物の赤ちゃんを紹介する文章を書く。
	11	○作った文章を発表し合う。

5 本時の指導（6 / 11）

（1）目 標

しまうまの赤ちゃんの成長の様子をライオンの赤ちゃんと比較しながら読み取ることが出来る。（読むこと）

（2）本時の目標を達成するための手立て

- ①時間の順序と述語とを板書で結ぶことにより、成長の過程を意識させる。
- ②ライオンの赤ちゃんと比較させる発問をすることにより、しまうまの赤ちゃんの成長の速さをとらえさせる。

（3）展 開（**太字ゴシック体は手立てにかかわる部分**）

段階	学習活動	指導上の留意点
導入 3分	<p>1 問いを確かめる ○しまうまの赤ちゃんの様子について学習しましょう。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">しまうまの赤ちゃんは、生まれたばかりのときは、どんなようすをしているのでしょうか。そして、どのようにして、大きくなっていくのでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時はしまうまの赤ちゃんについて学習することを知らせる。</li> <li>・第1段落を音読させ、問いが二つあったことを確かめる。</li> </ul>
展開 32分	<p>2 音読をする（P61L4～P63L9） ○音読をしましょう。</p> <p>3 生まれたばかりの様子を読む ○どんな大きさですか。 ○目や耳はどうなっていますか。 ○お母さんと似ていますか。</p> <p>4 大きくなっていく様子を読む ○時間がわかる言葉はありましたか。</p> <p>○しまうまの赤ちゃんは、「いつ」「どうする」のですか。</p> <p>○大事な言葉をノートに書きましょう。</p> <p>5 ライオンの赤ちゃんと比較する ○ライオンの赤ちゃんはおかあさんと似ていましたか。 ○ライオンの赤ちゃんが自分で獲物をとるようになるまで、どれぐらいかかりましたか。 ○しまうまの赤ちゃんが、お母さんにそっくりで、すぐに大きくなる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以下の順序で音読をさせることにより、全体をとらえさせる。 ①主述を意識させる音読。 ②段落のまとまりを意識させる音読。 ③時間の順序を意識させる音読。</li> <li>・大きさ・目や耳の様子・母親との比較を説明の順序に沿って確かめさせる。</li> <li>・<b>「三十分もたたないうちに」「つぎの日には」「たった七日ぐらい」「そのあとは」を見つけ、丸で囲ませる。</b></li> <li>・1文ずつ音読をさせながら、時間を表す言葉を確認させる。</li> <li>・主語と述語を確かめる。</li> <li>・<b>時間の経過を表す言葉とそれに対応する述語とを板書で結びつける。</b></li> <li>・時間の経過や要点にかかわる大事な言葉をノートに書かせる。</li> <li>・<b>ライオンの赤ちゃんと比較させる発問をすることにより、しまうまの赤ちゃんの成長のスピードに気付かせる。</b></li> <li>・しまうまは、ライオンなどに襲われる危険から身を守るために短い期間で成長していくことを考えさせる。</li> </ul>

	<p>のはなぜだと思いますか。</p> <p>6 まとめ</p> <p>○ まとめの音読をしましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間を表す言葉を確認しながら音読をさせる。</li> </ul>
終末10分	<p>7 振り返り</p> <p>○ しまうまの赤ちゃんの学習をしてわかったことや思ったことを書きましょう。</p> <p>8 次時の予告</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノートにわかったことや感想を書かせる。</li> <li>・ライオンの赤ちゃんと比べて思ったことはないか考えさせる。</li> <li>・ライオンの赤ちゃんとしまうまの赤ちゃんの違いをまとめることを確かめる。</li> </ul>

(4) 具体の評価規準 (【】は児童の振り返り例)

観点	十分満足できる	概ね満足できる	努力を要する児童への支援
読むこと	<p>しまうまの赤ちゃんの成長の様子についてわかったことと感想を、ライオンの赤ちゃんと比べて書いている。</p> <p>【ライオンの赤ちゃんはお母さんに守られてゆっくり大きくなったけれど、しまうまの赤ちゃんはお母さんに似ていて、すぐに走ったり食べたりできてすごい。】</p>	<p>しまうまの赤ちゃんの成長の様子について、ライオンの赤ちゃんと比べてわかったことを書いている。</p> <p>【しまうまの赤ちゃんは、ライオンの赤ちゃんとちがって、お母さんに似ているし、大きくなるのも速い。】</p>	<p>板書で時間の経過と述語を結びつけて内容の大体を確かめさせる。</p>

(5) 板書計画

